

【塗り床材施工における下地状況チェックシート】

* 該当するものに○印をつけ、アンダーライン がある欄には必要事項を記入してください。

物件名	_____.		調査日	_____年 _____月 _____日		
施工室名	_____.		調査者	_____.		
下地の材質	コンクリート・セメントモルタル・セメント系下地調整材 ⇒ a 欄を記入					
	金 属 ⇒ b 欄を記入					
	アスファルトコンクリート ⇒ c 欄を記入					
既存仕上げ材の有無	ない					
	ある ⇒ 種類 (塗り床材・張り床材・その他 _____) ⇒ d 欄を記入					
a コンクリート・セメントモルタル・セメント系下地調整材の場合	打設時期	_____年 _____月頃		乾燥期間	_____週間	
	種 類	普通コンクリート・軽量コンクリート・膨張コンクリート・普通セメントモルタル・軽量モルタル・セメント系下地調整材・その他(_____)				
	表層水分率	水分計(機種: _____) : _____% ~ _____%				
	表面強度	建研式接着試験 : _____N/mm ² ~ _____N/mm ² , 引っかき試験 : _____mm ~ _____mm				
	表面状態	濡れ色をしていないか	いない・濡れ色の部分がある(種類: _____)			
		レイタンス層があるか	ほとんどない・僅かにある・かなりある			
		雨打たれがあるか	ほとんどない・僅かにある・かなりある			
		汚れの付着があるか	ない・ある(油脂類・ペンキ・泥・その他 _____)			
	クラックの程度	特に問題ない・多い(巾0.3mm以下・巾0.3~1mm・巾1mm以上)				
	凹凸の程度	特に問題ない・2~4mmの凹凸がある・4~6mmの凹凸がある・6mm以上の凹凸がある				
	不陸の程度	特に問題ない・3~6mmの不陸がある・6~9mmの不陸がある・9mm以上の凹凸がある				
	目地の有無	ない・ある(カッター目地・目地材あり(種類: _____))				
金具や建具の納まり	特に問題ない・問題がある(状況: _____)					
b 金属の場合	金属の種類	鉄製鋼板・亜鉛メッキ鋼板・その他の金属(種類: _____)				
	表面状態	大きなたわみがないか	ない・ある(状況: _____)			
		錆がないか	ない・ある(状況: _____)			
		汚れの付着	ない・ある(種類: _____)			
鋼板の接合部等の凹凸	ない・ある(状況: _____)					
c アスファルトコンクリートの場合	打設時期	_____年 _____月頃		養生期間	_____週間	
	転圧状態	良好・不十分(状況: _____)				
	転圧時の油などが付着していないか	ない・ある(状況: _____)				
d 既存仕上げ材がある場合	塗り床の場合	塗り床の種類	エポキシ系・ウレタン系(弾性タイプ・硬質タイプ・水性硬質タイプ)・メタクリル系・アクリル系・ポリマーセメント系・強化コンクリート系・その他(_____)			
		塗り床の接着状態	接着力は十分にある・部分的に弱い所がある・全体的に弱い			
		塗り床の損傷状態	表面の摩耗程度・部分的なワレや剥離・軟化や膨潤・剥離や劣化が多い			
	張り床の場合	張り床の種類	ビニル床シート・ビニル床タイル・リノリウム床シート・木質フローリング・磁器タイル・石質タイル・その他(_____)			
		張り床の接着状態	接着力は十分にある・部分的に弱い所がある・全体的に弱い			
		張り床の損傷状態	表面が摩耗している程度・部分的にワレや剥離がある・剥離が多い			
		接着剤の種類	エポキシ系・エマルジョン系・セメント系・ポリマーモルタル系・他(_____)			
	浸透型表面強化剤が施工されている場合		浸透型表面強化材の種類: _____・不明			
ワックスが塗付されている場合		ワックスの種類: _____・不明				